



平成21年1月9日

各 位

静岡県静岡市駿河区豊田三丁目6番36号
株式会社アムスライフサイエンス
代表取締役社長 浅山雄彦
(コード番号: 2927)

問い合わせ先 取締役 白鳥弘之
社長室長
電話番号 054(281)5238

平成21年8月期第2四半期累計期間(連結・個別)及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年10月17日に公表いたしました平成21年8月期(平成20年9月1日~平成21年8月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年8月期第2四半期累計の業績予想数値の修正
(平成20年9月1日~平成21年2月28日)

(1) 連結

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	6,000	500	500	270
今回修正予想(B)	6,000	240	220	90
増減額(B-A)	0	260	280	360
増減率	0%	52.0%	56.0%	-%
前期(平成20年8月期中間期)実績	4,929	408	483	333

(2) 個別

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	3,600	350	350	200
今回修正予想(B)	2,900	270	250	60
増減額(B-A)	700	80	100	260
増減率	19.4%	22.8%	28.5%	-%
前期(平成20年8月期中間期)実績	2,229	207	282	171

2. 平成21年8月期通期業績予想数値の修正（平成20年9月1日～平成21年8月31日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,000	1,000	1,000	550
今回修正予想(B)	13,000	550	500	100
増減額(B-A)	1,000	450	500	450
増減率	8.3%	45.0%	50.0%	81.8%
前期(平成20年8月期)実績	10,221	849	929	354

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	7,200	750	750	400
今回修正予想(B)	6,000	560	530	120
増減額(B-A)	1,200	190	220	280
増減率	16.6%	25.3%	29.3%	70.0%
前期(平成20年8月期)実績	5,131	581	663	359

3. 修正理由

第2四半期累計期間業績予想数値及び通期業績予想数値の修正について

急速な世界的景気後退の中、当社グループを取り巻く健康産業においては、健康に対する人々のニーズが普遍的なものであることから景気に左右されにくく、また、少子高齢化に伴う医療費負担の増加を背景に「セルフメディケーション」に対する意識の高まりと相俟って、今後の市場動向は成長基調にあるものと考えられております。

このような環境の下、事業規模の拡大を積極的に進めました。

具体的には、

昨年7月に、「株式会社ベストワーク(テレビショッピング等各種通信販売)」及び「株式会社ターゲット(テレビ媒体の広告代理業、日用雑貨等の輸入)」並びに昨年12月に、全国有名百貨店56店舗において健康食品の販売を手がける業界老舗の「株式会社モリヤ」を子会社化致しました。

これにより、売上高につきましては、当初予想数値より10億円を積み増し、連結通期で130億円に修正致しました。しかしながら、(株)ベストワークが販売する商品の自社製造商品への切り替えが、取引先との兼ね合いから計画通りに進まず、個別売上高の減少及び利益率の改善が遅れました。また、世界的景気悪化に伴う消費マインドの低下に対し、レスポンスの向上を図るためテレビショッピング番組「AFC 晴ればれハローショッピング」を月700回全国の放送局で放送するなど、積極的な番組制作及び広告宣伝を行ったため、利益率の改善が遅れました。また、期初に予定していなかった株式会社静岡銀行保証付私募債(昨年12月に発行)についての社債発行費が発生したことなどにより、営業利益、経常利益を修正することと致しました。

当期純利益につきましては、株式市場の急激な悪化に伴い、保守的に平成20年11月30日現在の時価などを基準に投資有価証券評価損344百万円を特別損失として計上しておりますが、当該有価証券評価損についての繰延税金資産136百万円を計上したため、当期純利益に与える影響は207百万円でありました。なお、現在、世界的に株式市場も落ち着きを取り戻してきており、今後、当該評価損の戻し入れが発生する可能性があります。

現在、経営基盤の一層の強化を図るため、事業規模の拡大・充実を目指しつつ経営コストの削減や、販売効率の更なる向上を追求すべくグループの再編成を積極的に進めております。

具体的には、

自社ブランド「エーエフシー」にグループの販売資源を集中させるため、昨年12月に株華舞を解消し製造部門を当社が、販売部門を(株)エーエフシーが継承することで製造・販売両面での高効率化を図ることとしました。

更には、本年4月に完成予定の(株)けんこうTVの新社屋において、テレビショッピング番組の自社制作可能なスタジオが完成致します。これにより広く確かな健康情報の発信基地として現在放映中の「AFC 晴れ晴れハローショッピング」を自社制作するなど、製造から広告宣伝を含めた販売、出荷までが自社で整う一連の仕組みが完成し、他社からの制作受注努力と併せて一層の利益追求の基盤が整います。

全国有名百貨店56店舗で健康食品の直営販売を展開する(株)モリヤにおいて、現状の仕入商品を自社ブランド「エーエフシー」製品に切り替えることにより、大幅な粗利率向上を図ります。

今年4月には「AFC ショップ 第1号店」を新社屋に併設し、新規事業を立ち上げます。健康食品・化粧品はもちろんのこと、“安心・安全”にこだわった食品を産直販売するなど、今後のチェーン展開のアンテナショップとしてノウハウの蓄積に努めます。

テレビショッピング番組での販売や機能性の高い高級化粧品シリーズ「ビューアベックブランド」を新規に立ち上げた結果、既存と違う顧客層を開拓することができ、売上、利益ともに好調に推移しております。

これからも、グループの経営資源を最大限に活かし、グループ行動指針である「改革と改善」をスローガンに、あらゆる分野を内製化・合理化することで、徹底的にコスト削減を図り、費用対効果を高めて参ります。

以上